

# 仙台市立仙台高等学校

## 題 心の温まる県

仙台市立仙台高等学校

2年4組 久保田 望美

高校二年生の冬、私は修学旅行で初めて愛媛県に行きました。私は元々愛媛県と同じ四国にある香川県で生まれたのですが、生後数か月で転勤してしまったため、四国のことは全く知らず育ってきました。しかし、今回の修学旅行で四国にある愛媛県に行けると聞き、とても楽しみにしていました。

まず、フェリーで愛媛県に入り、船着き場に到着すると、愛媛県の方が十二月の寒い中にもかかわらず、「仙台高校二年四組」という幕を持って歓迎してくださいました。それは、まるで有名人が来たかのように私たちを迎えてくださり、到着早々愛媛県の方は温かい方がたくさんいるのだなと思いました。それからホテルに到着すると、愛媛県の方が歓迎セレモニーを開いてくださいました。途中では愛媛県知事もお見えになりました。そして、お土産にみかんやキウイフルーツといった愛媛県の特産品をたくさんいただきました。お夕飯も豪華で、ただの高校生がこんなに歓迎されてしまっていいのかと思いました。中でもテレビで見たことのある、水道からみかんジュースが出てくる水道が印象的でした。このような、愛媛県民でしか、体験できないことも体験させていただき、自分も地元の人間になったようになって、とても新鮮でした。その後に行った道後温泉本館では、偶然にも休館日だったため、隅から隅まで見学させていただきました。特に「坊ちゃん泳ぐべからず」という札を見たときは思わず興奮してしまいました。担当の方に質問をすると、笑顔で親切に教えてください、楽しい時間を過ごすことができました。翌日行った松山城では、愛媛県の歴史を学び、頂上に着くと、天気がよかったということもあり、あたりを一望することができました。私たちが最後に行ったところは、みかん農園です。そこでは、地元の丹原西中学校との交流会もかねて、みかん狩りをしました。中学生とは、おいしいみかんの特徴や、愛媛県のことなどの話題で盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。それまでの愛媛観光は自分たちがお客さんという感じで受け身になっていたのですが、交流会では一転して、自分たちも積極的に行動することができました。中学生からは方言も聞くことができ、愛媛県になじめたような気がします。帰り際には、高級みかんを一人一箱ずついただきました。

愛媛県には合計で約一日しか滞在することができませんでしたが、そんな短時間でも愛媛県の温かさにふれ、もっとたくさん愛媛県について知りたいと思うような充実した時間を送ることができました。将来もう一度観光したいと思うことはもちろん、将来愛媛県に住んでみたいと本気で思いました。愛媛県を観光してみて一番印象に残ったことは、愛媛県の方は、親切で温かいということです。このような県民性にふれることができ、よかったです。愛媛県のみなさん、本当にありがとうございました。

愛媛県の皆様へ感謝申し上げます

仙台市立仙台高等学校  
2年4組担任 内田政朗

4日間の修学旅行で広島・愛媛・高松・大阪・京都という欲張りな行程を、充実した思いで、体調を崩す生徒もなく全員元気に踏破・満喫できましたことは、中村県知事はじめ県観光課の職員の皆様そして愛媛県の皆様の様々なお配慮のおかげだと感謝しております。

12月3日（月）に広島での平和学習の後、通常であれば広島市内なり宮島に宿泊するところを、貴県の補助があつて、宇品港から松山観光港まで高速船で渡ることができましたことは、その夜の道後温泉での行程をゆとりをもって行動できた大きな要因でした。職員の方の用意して下さった歓迎の横断幕も予期していなかったサプライズであり、生徒共々大変感激いたしました。

道後温泉の宝荘ホテルにはご多忙にもかかわらず、中村時広愛媛県知事においでいただきご挨拶を頂戴したことは恐縮でした。知事に対しては今回の「被災地学校支援事業」等様々なお配慮について生徒代表に御礼を述べさせましたが、実はこの生徒は福島市出身で震災により仙台市に転居してきた生徒であり、将来政治家・あるいは公務員として復興に携わりたいという希望をもっている生徒ですので、生涯忘れられない出来事になったかと思えます。

この日の夕食は、実に贅沢な鯛飯のお膳と都市伝説「蛇口からポンジュース」に驚き、さらには、みかん、キウイ、いろはす、タオルマフラーのお土産など、あまりの多量さに呆然とする程で感謝に堪えません。なかでもわざわざ学校まで送っていただいたキウイとみかんのおいしさは生徒とその家族さらには本校の職員からも感嘆の声があがっておりました。ありがとうございました。

その後愛媛県観光課の方に付き添っていただき、道後温泉本館内の見学や、商店街散策など夜遅くまで安全面にも多大なお配慮をいただきましたこと感謝申し上げます。ワンコインで人力車を楽しんだり、お土産購入に割引のサービスしていただくなど商店街の皆様のご配慮にも感謝申し上げます。

温泉本館は年に一度の年末大掃除休館でしたが、逆にゆっくりとご案内していただき、皇室専用のお風呂「又新殿」も拝見できましたことは幸運でした。お風呂の方も翌朝6時からリベンジした生徒達と担任がおりましたことを申し添えます。一年で一番きれいなお湯をいただきました。

翌4日（火）は、前日に引き続き観光課の方に引率していただき松山城見学。道後温泉から大街道駅まで路面電車に乗りリフトでお城に上がりました。仙台の青葉城址は石垣のみのお城でございまして、松山城の偉容と天守からの市街地と瀬戸内海の眺めには感動いたしました。また、仙台市では路面電車は約40年ほど前に廃止されており、ほとんどの生徒が初体験ということで、大いに珍しがり、また感激しておりました。そもそも、今回の修学旅行は乗り物づくしの旅でもありました。飛行機、高速船、路面電車、リフト、ロープウェイ、JRローカル線（瀬戸大橋を渡り夕陽を見ました）、新幹線、そして観光バスといった具合です。

その後西条市に移動し丹原西中学校の3年生とみかん狩りをしながらの交流会を行いました。中学生とは生徒同士、旅行前に互いの自己紹介や東日本大震災の体験を伝える等のやりとりを行っていたため、すぐに仲良くなり、大いに楽しめる交流会となりました。なにしろ宮城県の間人はみかんが自生しているのを滅多に見ませんので、意外なほど喜んでおりましたことを申し添えたいと思います。ここでも愛媛県の観光課の方にご足労いただきました。また、大変高価なブランドみかんをお土産にいただきました。本当にありがとうございました。

この後愛媛県を後にし、香川入り。金比羅宮に移動。讃岐うどんて腹を満たした後、金比羅さん参り。愉快的ガイドさんにも恵まれました。琴平駅のホームでは皆でJRローカル列車をのんびり待つなど、旅情を感じながら、夕陽の中瀬戸大橋を渡り、岡山経由で大阪入り。(この大阪入りの交通手段も貴県の補助のおかげさまで、貸し切りバスによる淡路島経由のコースよりも大いに時間を短縮できました。) 5日は午前中の大阪自主研修後USJ。6日は清水寺参拝後京都自主研修を楽しみ伊丹から空路帰仙。解散。

以上言葉に尽くせないほどお世話になりました。ほとんどの生徒が愛媛県を訪れるのは初めての経験でした。「また、行きたい」と異口同音に生徒達が望んでいることを申し添えてお礼の文章を結びたいと思います。ありがとうございました。



## 地元愛あふれる愛媛県の方々との素晴らしい出会い

仙台市立仙台高等学校

平成24年度2年6組担任 前野周一

マイントピア別子を案内してくれたのが、地元の新居浜東高校の生徒さんたちでした。マイスター制度というのがあり、人に説明するためには試験に合格しないとけないということを聞いています。今回私たちが最初ということでしたが、しっかり練習されているようで、堂々としていてスムーズでした。砂金取り体験では、冬ということで特別にお湯を流していただいたので、冷たい思いをせずに熱中することができました。短い時間にも関わらず、帰りの駐車場では、両校生徒の輪があちらこちらにできて別れを惜しんでいました。

次に訪れた西条市丹原のみかん狩りでは、とても高価な「紅まどんな」や柿までもお土産にいただきました。みかん狩りは宮城ではできないので、生徒にとって貴重な体験となりました。

夕食時に、中村時広愛媛県知事御自ら夕食会場にお越しくださって、生徒たちに言葉をかけてくださいました。この事業がどういうきっかけで始まったのかが分かり、そのお気持ちがとてもありがたく思いました。

宝荘ホテルの営業部長藤田貴久様にはいろいろと無理を聞いていただきました。お礼を述べると、このホテルにまた来て欲しいというより、松山の町を好きになってほしいからだのお話で、地元愛を強く感じました。

松山南高校では、仲田正夫校長先生や204HR担任谷口みち佳先生を始め多くの先生方、そして生徒さんたちから大歓迎をうけました。班別に分かれて松山を案内してもらい、最後は地元の食材でつくられた食事を両校の生徒と教員でいただきました。その会場にこれまたサプライズで、ゆるキャラの「みきゃん」や「よしあきくん」が登場し、生徒たちの興奮もマックスに達していました。私たちを喜ばせようといろいろとアイデア満載で言葉がございません。生徒たちはこの交流が非常に楽しかったようで、口々に時間が足らなかったと話していました。ここでもまた忘れられない出会いとなりました。宮城に戻ってからも記念品の交換など交流が続きました。

愛媛県を訪れるにあたり、お目にかかる方々に記念品をとということで、「編んだもんだら」を用意していきました。これは毛糸で編んだたわしのことで、東日本大震災で被災された沿岸部の女性の方々が編んだものです。売り上げの一部がこの方々の収入になるということで選びました。「たこさん」や「さかなさん」などなど色も様々なので、松山南高校の生徒さんたちにもかわいいと喜んでいただきホッとしました。また、HR研修旅行の企画・実施に当たり、非常にお世話になった愛媛県庁の栗田謙様のご尽力により、愛媛県庁内のお店で「編んだもんだら」の取り扱いを始めたことのお話を伺いました。「編んだもんだら」の関係者より感謝の言葉を頂戴していますことを申し添えさせていただきます。

翌年度、次の2学年の授業を担当することになりましたので、どんなに愛媛での体験が楽しかったか語ったところ、2年4組の生徒が非常に乗り気になり、他のクラスには話さないでくれ、自分たちが愛媛に行くからということになり、たすきをつなぐことができました。仙台高校はクラスごとに企画を立てるので、全クラス別々の旅行内容となっています。

さて我が旧2年6組の生徒たちですが、この3月に無事卒業していきました。この生徒の中に、今回お世話になった旅行者さんに対して、愛媛にまた行きたいのでパンフレットが欲しいという電話をした者がいると聞きました。まかれた種がいろいろなところで芽を出しています。

愛媛県の方々、本当にありがとうございました。生徒共々、厚く御礼を申し上げます。



